

## [084\_03] 法政研究表紙奥付

<https://hdl.handle.net/2324/1901721>

---

出版情報：法政研究. 84 (3), 2017-12-14. 九州大学法政学会  
バージョン：  
権利関係：

## 目次

フランスにおける死刑廃止への道程……………	井上宜裕（一）
—— Philippe MAURICE 事件を素材として ——	
コカと日独関係……………	熊野直樹（三四六）
—— 第二次世界大戦期を中心に ——	
必要的仮釈放制度の刑事政策史上の一断面……………	武内謙治（三一八）
—— 法制審議会刑事法特別委員会および小委員会の議論を素材に ——	
刑事訴訟法三二二条の原理と解釈……………	田淵浩二（一七）
再審理由追加の適法性とその法理……………	豊崎七絵（四五）
—— 抗告審・異議審との関係 ——	
刑法典における一般的自首規定の制度根拠……………	野澤 充（二八四）
—— 明治期以降の規定を素材に ——	
中国における労働契約の書面化とその実効性確保の手段……………	山下 昇（八七）
—— 民事的制裁を通じた労働法上の義務の履行促進 ——	

フランス「雇用保持発展協定」のインパクト……………野田 進(二四六)

——労働改革法の実験場——

行刑における平等の観点……………大谷 彬 矩(二一一)

原因において自由な行為に関する一考察……………徳 永 元(二三五)

レイモン・サレイユにおける「刑の個別化」の思惟……………相澤 育 郎(二五九)

「犯罪行為者の社会復帰支援」から「人が『生きる』を支える」のために……………森 久 智 江(二九二)

——障害者権利条約における人権概念と人権価値の転換による示唆——

土井政和教授 著作目録